

お詫びと訂正

『根拠と写真で学ぶ看護技術 2 観察・処置を支える援助』の本編中、以下の箇所に誤りがございました。お詫びして、訂正させていただきます。

該当項目	該当箇所	誤	正	備考
10 頁	下から 10 行目	<p><b>聴診で得られる情報</b>  <b>異常呼吸音</b>  <b>乾性ラ音</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ピーピー」「ヒューヒュー」などの高めの連続音で笛声音、きしみ音をいう。</li> <li>● 気管支喘息、細気管支炎では広い範囲で乾性ラ音が聞かれる。</li> <li>● 気管支腔に分泌液、腫瘍、浮腫がある場合などにも発する。</li> </ul> <p><b>湿性ラ音</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「プツプツ、ブツブツ」という断続性の音が聞かれる。</li> <li>● 細気管支、末梢気管支に流動性の液体があって、そこを吸気が通過していくときに発する。</li> <li>● 肺炎、肺水腫、肺線維症で聴取される。</li> </ul> <p><b>胸膜摩擦音</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「バリバリ、パリパリ」という音が吸気終期に聞かれる。</li> <li>● 臓側胸膜と壁側胸膜が呼吸に応じて付いたり剥がれたりするときに発する音。</li> </ul> <p><b>皮下捻髪音</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「パチパチ」と音がし、触診でも握雪音として感じ取れる。</li> <li>● 胸部外傷、自然気胸、緊張性</li> </ul>	<p><b>聴診で得られる情報</b>  <b>異常呼吸音</b></p> <p>1. 連続性複雑音：比較的太く、中枢に近い気管支の狭窄を疑う。</p> <p>①高張性連続性複雑音 (wheeze)：笛音  「ピーピー」「ヒューヒュー」などの高めの連続音。比較的太い気管支の内腔が狭窄した場合に起こり、気管支喘息、肺気腫、細気管支炎、肺水腫などで確認できる。</p> <p>②低張性連続性複雑音 (rhonchi)：いびき様音  「いびき」のような連続した低めの連続音。  肺門部や主気管支などが閉塞された時におこる。</p>	2011/11/10 更新

		<p>気胸などで、皮下に空気が入っている皮下気腫の音。</p> <p><b>呼吸音消失</b></p> <p>●無気肺・気胸・胸水貯留・肺摘出後・完全 気道閉鎖などのときは、呼吸音が聞かれなくなる。</p>	<p>2. 断続性複雑音：肺泡や比較的末梢の気管支のトラブルを疑う。</p> <p>①細かい断続性複雑音(fine crackles)：念髪音 吸気時のみに聞こえる「パリパリ」「チリチリ」という細かい断続性の音。 間質性肺炎、肺線維症、肺水腫など拘束性肺疾患で、弾力性を失った肺泡が膨らむ際におこる。</p> <p>②粗い断続性複雑音(coarse crackle) 吸気・呼気時にする「ブツブツ」「プツプツ」という断続性の水泡音。肺水腫、気管支拡張症、肺炎、慢性気管支炎など、気道内に分泌物が増加した場合に気泡が破裂するような音がおこる</p> <p>3. 胸膜摩擦音 吸気・呼気時にする「バリバリ」「ギュッギュッ」という音。気胸、胸水貯留、胸膜炎などの場合、臓側胸膜と壁側胸膜が呼吸ともに擦れるためにおこる。</p>	
--	--	---	--	--